

豊岡まちづくり推進協議会 会議録 令和6年度 第3回

会議概要	
日時	令和7年3月28日（金曜日） 午後6時00分～午後8時00分
場所	東部まちづくりセンター コミュニティスペース
出席者	委員10名（会長、副会長以下50音順） 高嶋会長、宇野委員、大田委員、北川委員、今野委員、佐竹委員、清野委員、 瀧本委員、宝住委員、森委員 （欠席者 石川副会長、北島委員、小林委員、千葉委員、長谷委員） オブザーバー 高橋 地域まるごと支援員 事務局 東部まちづくりセンター 鈴木所長、高尾 その他 愛宕公民館 角谷館長
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第 資料1 令和6年度豊岡地域で実施される課題解決の取組 資料2 豊岡まちづくり推進プログラム（改訂案） 資料3 あたごふれ活マップ

議事の内容

1 開会

開会し、事務局より欠席者及び遅れて出席予定の委員の報告、当日使用する資料の確認があり、改選後、協議会に初めて出席する委員の紹介があった。

その後、土木部土木総務課から「東町歩道橋の解体撤去に係る報告」について説明があった。

2 協議事項

(1) 豊岡地域のまちづくりの検討と推進について

ア 令和6年度に豊岡地域で実施される課題解決の取組について

資料1に基づき、事務局及び実行委員から、令和6年度豊岡地域で実施される課題解決の取組の報告及び令和7年度の事業の見通しについて説明があった。

<豊岡まちづくりウォーキング事業>

- ・令和6年度は、豊岡地区センターと東部まちづくりセンターの2箇所を起点として開催した。
- ・春先の参加者は多かったが、秋口は日程等のことがあって残念ながら参加者は少なかった。
- ・令和7年度は新しい豊岡の発見につながるようなウォーキング事業にしたい、というような意見が出てきており、豊岡エリアの中で、実行委員として協力いただいている介護老人保健施設フェニックスを起点として牛朱別川近辺を歩くなど、今まで歩いたことのないコースを回ってみようという話が出ている。施設の借用については、フェニックスで前向きに検討いただいているところである。
- ・来年も、春と秋をめぐりに2回実施したいと考えている。

<愛あい（子どもの居場所）づくり事業>

- ・令和6年度の事業が終了し、参加者は延べ人数で365名、うち子どもが328名、大人（保護者）が37名であった。
- ・前年度と比較して99人参加者が増えており、愛あいの楽しさが広がっていると感じる。
- ・毎回来てくれる子どももおり、子どもと担い手でお互いに顔を覚えて、良好な雰囲気を作れている。
- ・暮らしのアプリの「月間地域のチカラ」で担い手を募集したところ、ボランティア希望者の方もいた。

<地域ふれかつマップ作成事業>

- ・資料3（マップ）を見ながら、内容を説明。
- ・3月21日（金）のライナーにマップを折り込み、対象地区（愛宕地区・愛宕新川地区）の住宅へ配付した。
- ・マップには連絡先を掲載しており、配付当日に数件問い合わせがあったことから、事業の成果は出たと感じている。
- ・このマップを活用し、各相談等の中で通いの場などを紹介しながら、インフォーマルなサービスにつなげていきたい。
- ・地図として活用されているとの話も聞いており、公民館に配架済のマップを多く方が持って行っていると感じている。

<豊岡消防団活性化事業>

- ・次年度も実施するというので、先日の実行委員会内で話し合われたところである。具体的な内容はこれから考えていきたい。

<地域学校パートナー事業>

- ・愛宕小・愛宕東小学校区では、冬場も月1回の見守り活動を続けた。4月7日の始業式の日にも見守りを実施する予定である。
- ・子どもとの触れ合いが少ないので、登校時の様子が見ることができて良かったと感じており、見守り活動は継続していきたい。
- ・地域と学校とで情報交換を行ったが、地域と学校の色々な問題解決のために協力しながら新しい事業に取り組んでいければよいと考えている。

イ 豊岡まちづくり推進プログラムについて

資料2に基づき、豊岡まちづくり推進プログラムの改訂について、事務局より説明があった。意見・質問等は特になかったことから、資料のとおり改訂することを確認した。

(2)その他

令和6年度第2回豊岡まちづくり推進協議会において、豊岡地域の将来像を想像しながら、まちづくりに関わる「団体」や「人」の可能性について意見交換を行い、今回はこれらの意見をさらに具体化するため、地域ごと（豊岡・新豊岡グループと愛宕グループ）に分かれてグループワークを実施した。

テーマは、①『新たな担い手参入（まち協委員・実行委員・まちづくり全般）の可能性』、②『我が町（豊岡・新豊岡・愛宕）の魅力・財産・次世代に伝えたい歴史等』の2つとした。

<グループワーク意見概要>

○豊岡・新豊岡グループ

①『新たな担い手参入（まち協委員・実行委員・まちづくり全般）の可能性』

- ・企業の方の参加。
- ・中学生へのボランティア教育を行ってみてはどうか。若い時の経験が、成長した後にすんなりとボランティアに参加するきっかけづくりになるのではないか。
- ・旭川大学との交流は深めたい。
- ・市議会議員の参加。

②『我が町（豊岡・新豊岡・愛宕）の魅力・財産・次世代に伝えたい歴史等』

- ・地域の周年事業や記念事業の資料を集めて、歴史を振り返り、整理し、活用することができる

のではないか。

- ・東町小学校に、冬場にスケートリンクが設置されている。龍谷高校も過去にスケートが強い時代があり、スケートリンクがあったと記憶している。
- ・「あたご散歩」という地図があったと記憶している。それを受けて、豊岡でも魅力発見を交えたウォーキングをしてみようというのが、豊岡まちづくりウォーキングを開始する発端だったと理解している。

○愛宕グループ

①『新たな担い手参入（まち協委員・実行委員・まちづくり全般）の可能性』

- ・担い手不足は、地域に限らずどこでもある。会議に来ていない若い学生などの意見を聞ける場所が必要である。
- ・現役世代の人は、こういう夜の会議には中々来ることができず、1年通して委員をやること自体が難しい。世代に合わせて時間帯を設定して1回だけでも会議来てもらって、意見を聞くといいのではないか。今までと同じ形ではやっていけない。
- ・新しい担い手確保するためには、新しい方法の導入が必要。一人一人の負担を軽減できるような、運営方法を工夫するのがよい。
- ・地域の中には地域の企業があり、企業の職員は大半を地域で過ごしている。そういう人たちの意見を聞ければいいと思う。

②『我が町（豊岡・新豊岡・愛宕）の魅力・財産・次世代に伝えたい歴史等』

- ・地域の魅力は私たちも知りたい。昔のことも今のことも御存じの方がいれば、お話を聞きたい。

【会長】

本日のテーマが漠然としていたため、委員の皆様も考えをまとめづらかったのではないか。

しかし、それぞれ出た意見は参考になることが多いので、事務局でまとめてもらうことで、一つの方向付けができるかと期待する。

3 その他

【事務局】（事務連絡）

- ・令和6年度豊岡まちづくり推進協議会出席に係る謝礼の支払いについて
- ・令和7年度事業について
- ・次回の会議日程について

4 閉会